

2019年5月10日
株式会社ネクソン

2019年度第1四半期 連結業績のお知らせ

株式会社ネクソンは、本日2019年度第1四半期(2019年1月1日～3月31日)連結業績を発表致しました。

当社の代表取締役社長であるオーウェン・マホニーは、次のようにコメントしております。
「ライブ運用とゲーム開発におけるたゆまないイノベーションの追求、そして自社IPへの長期的な注力により、2019年も大変好調なスタートとなりました。世界トップクラスのライブ運用及び開発を通じて、引き続き世界のあらゆる地域で事業成長を推し進めました。中国の『アラド戦記』は売上収益が当社業績予想を上回り、ライブ運用の強さを改めて証明する四半期となりました。また、韓国の『メイプルストーリー』は売上収益が前年同期比で再び2桁成長しました。さらに、『FIFA ONLINE 4¹』は順調にサービス移行を完了し、ユーザーエンゲージメントが高まった結果、PC・モバイルを合わせた売上収益はサービス移行前の2017年第1四半期における前シリーズ作『FIFA Online 3¹』とおおよそ等しい規模になりました。

当社は業界でもトップクラスに息の長いヒット作を保有しています。そのうちのひとつで累計登録ユーザー数が3億8千万を超える『カートライダー』は、韓国での配信開始から15年が経過した当第1四半期の売上収益が前年同期比で3倍超成長しました。また、韓国で18年前に配信を開始した『Crazy Arcade BnB』のモバイル版のグローバルサービスが当第1四半期中に開始し、配信からわずか1ヵ月未滿でダウンロードは1,000万を超えました。」

2019年度第1四半期業績概要

- 売上収益は会計基準ベースで前年同期比3%増(一定為替レート²ベースでは7%増)の931億円となり、当社業績予想を上回った
中国の『アラド戦記』、韓国の『メイプルストーリー』、『FIFA ONLINE 4¹』、及び新作モバイルゲーム『Lyn: The Lightbringer』の売上収益が想定を上回ったことが要因
- 営業利益は526億円。前払ロイヤリティなどに係る減損損失29億円が発生した一方で、売上収益が想定以上であったことから当社業績予想を上回った
- 四半期利益³は534億円。営業利益が想定以上であったことに加えて、米ドル建ての現金預金等について63億円の為替差益が発生したことにより当社業績予想を上回った

2019年度第2四半期業績予想

- 売上収益は521億円から567億円を予想。前年同期比9%から19%の増加(一定為替レート²ベースで同12%から22%の増加)
- 営業利益は126億円から163億円を予想
- 四半期利益³は146億円から178億円を予想



本リリースに関する報道機関からのお問い合わせ

株式会社ネクソン 経営企画部 企業広報チーム

TEL: 03-6629-5324 FAX: 03-6629-5329 Email: CorporatePR.Team@nexon.co.jp

¹ 正式名称は『EA SPORTS™ FIFA Online 3』(PC)、『EA SPORTS™ FIFA Online 3 M』(モバイル)、『EA SPORTS™ FIFA ONLINE 4』(PC)、『EA SPORTS™ FIFA ONLINE 4M』(モバイル)です。

² 一定為替レートとは、売上収益を認識するネクソングループの各法人が所在する国の現地通貨の対円レートを前年同期比の為替レートに固定して計算した Non-GAAP 指標です。具体的な例としては、『アラド戦記』の中国向けサービスに係るロイヤリティ収入に関しては、中国元／米ドル、米ドル／韓国ウォン、韓国ウォン／円の一定為替レートを適用し計算しています。

³ 四半期利益とは、当社の連結財務諸表に記載されている親会社の所有者に帰属する四半期利益のことです。